

第65回臓器移植委員会
資料6
2023.11.15

臓器提供に関する院内体制整備

筑波大学附属病院

院内臓器移植コーディネーター

臨床心理士／公認心理師，医療メディエーター

平井 理心 (ひらいこころ)

病院紹介

所在地

茨城県つくば市天久保2-1-1

医療機関指定

特定機能病院、エイズ治療拠点病院、地域がん診療拠点病院、茨城県災害拠点病院 他

標榜診療科数

33 (診療科数39)

病床数

病床数 800床
(一般病棟：625床、特定入院病床：134床、精神病棟：41床)

外来患者数

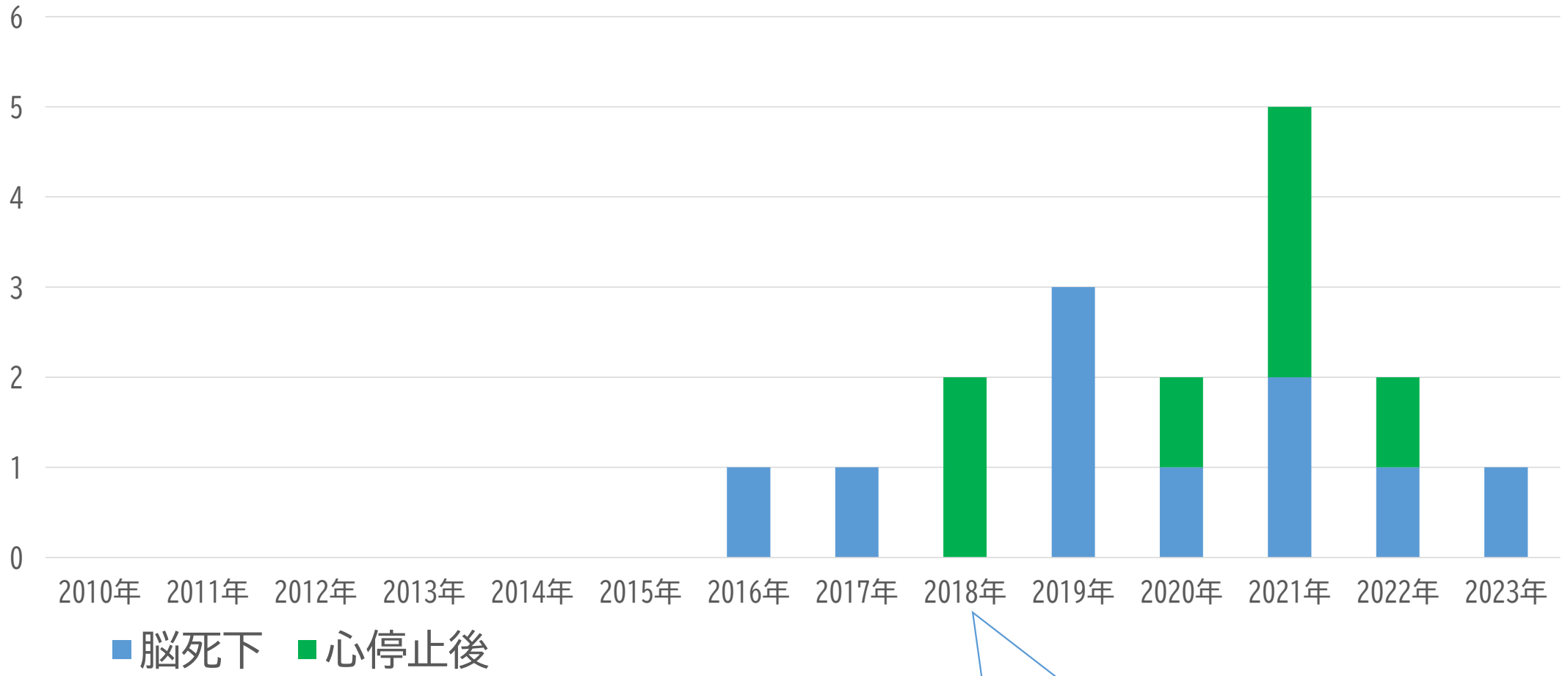
約1,800人／日

職員数

約2500人 (PFI事業者除く)



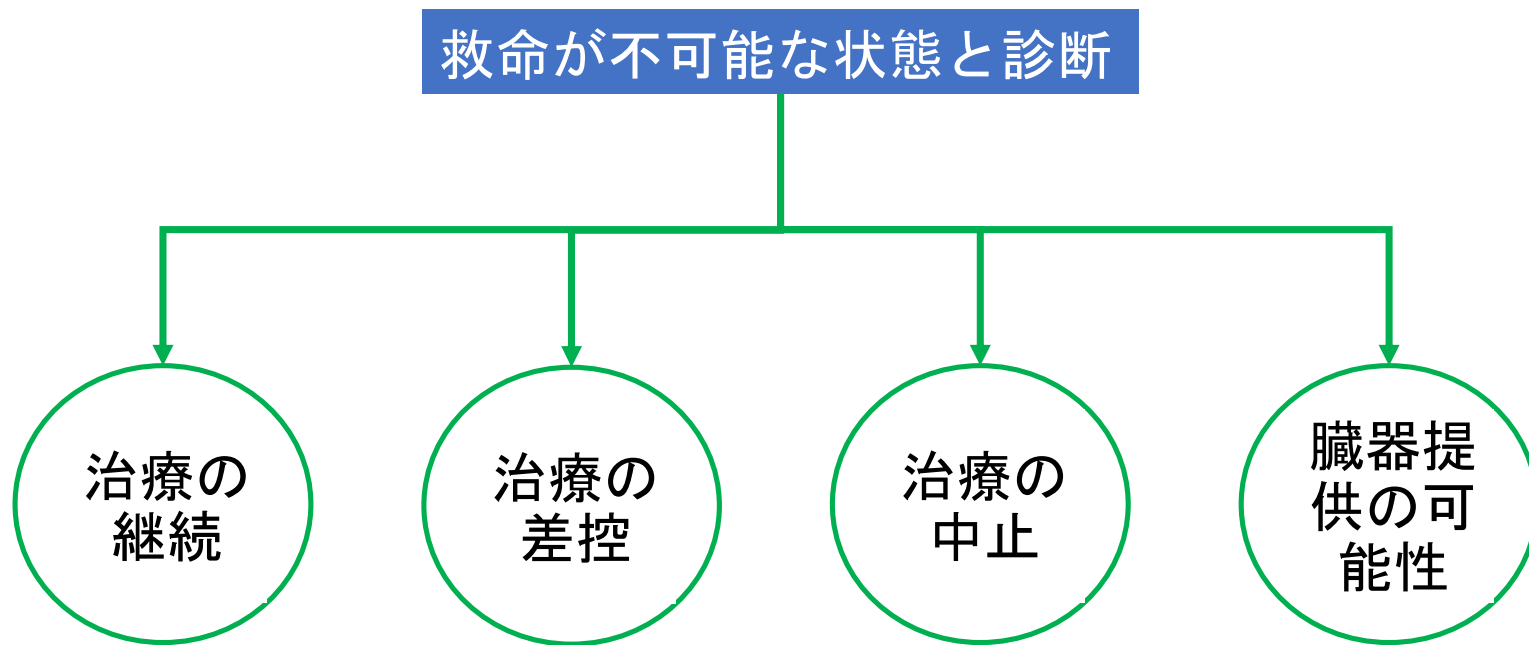
筑波大学附属病院における臓器提供事例数



2018年4月～
院内体制整備

継続的な臓器提供を可能にした、いちばんの要因

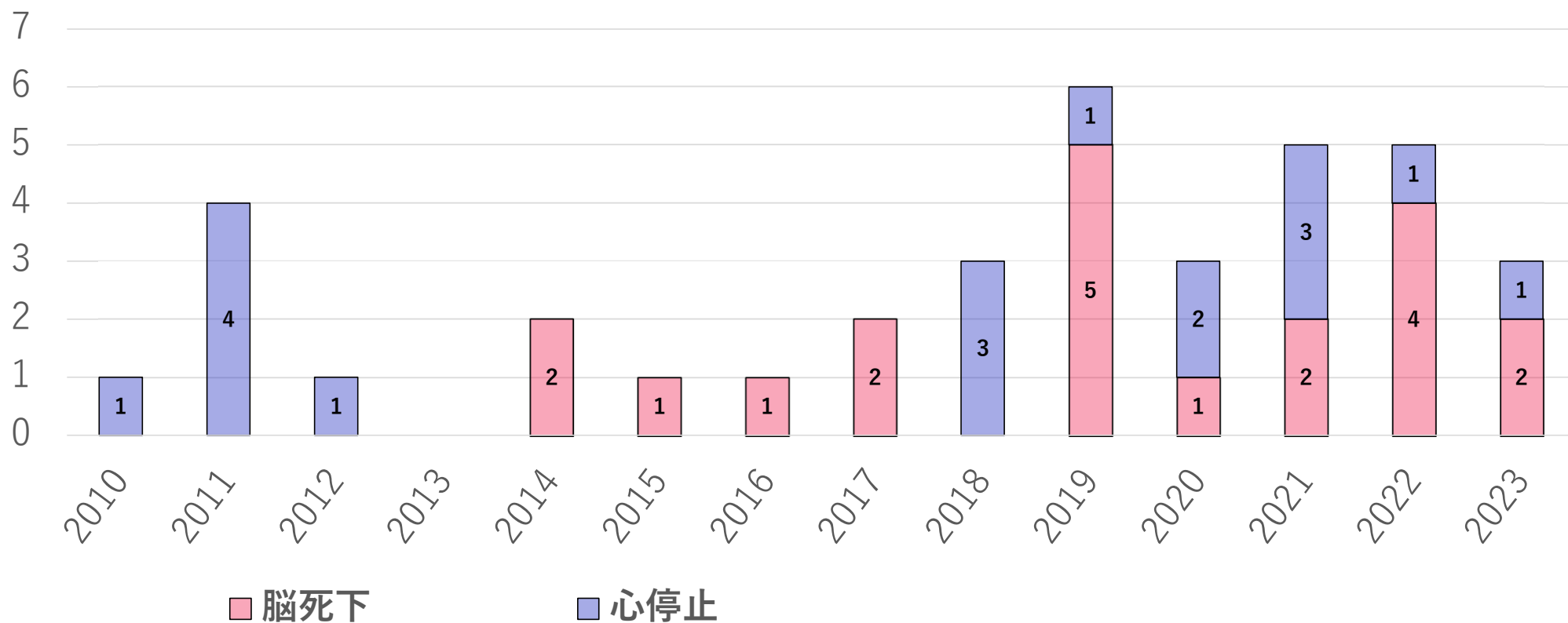
選択肢提示



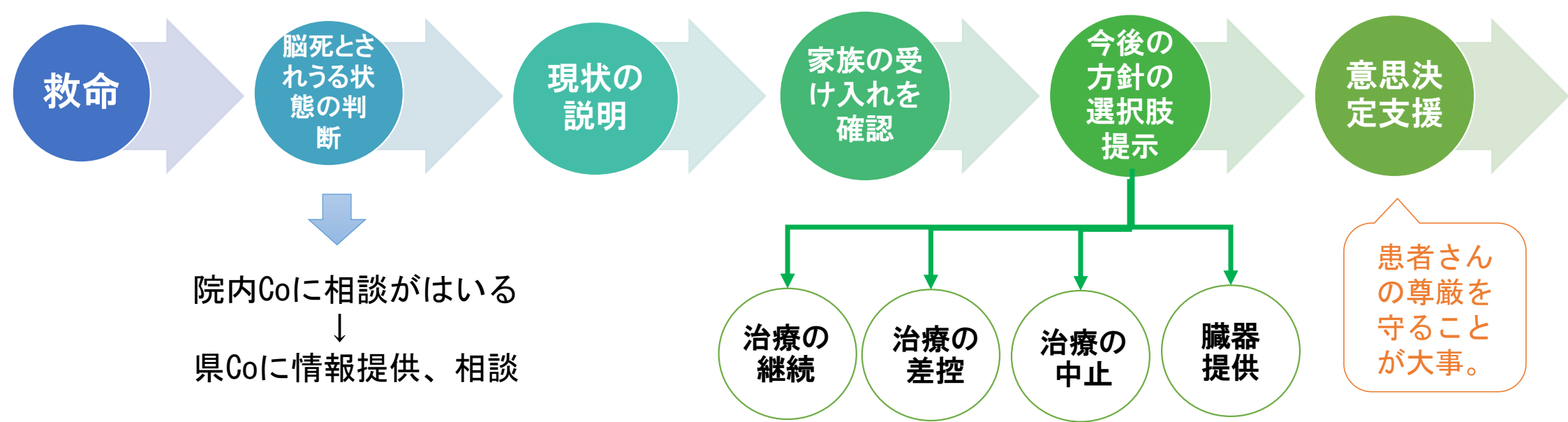
すべての患者さんの尊厳を守るために必要なこと 4

【参考】茨城県の臓器提供数の増加

茨城県臓器提供件数の年次推移(2010年～2023年9月)



選択肢提示への流れ



選択肢提示を支える院内体制

①臓器提供・移植支援委員会の設置

委員長：副病院長（診療）

委員：救急・集中治療科長、
院内コーディネーター
消化器内科・外科、脳神経外科・内科、
腎泌尿器外科・内科、循環器外科・内科、
小児内科・外科、眼科、麻酔科、
看護部、検査部、臨床心理部、
病院総務部、
レシピエント移植コーディネーター、
外部委員（いばらき腎臓財団、県コーディネーター）

②多職種院内コーディネーターの配置

 救急科 医師

 看護師長

 一般病棟 副看護師長

 ICU看護師

 臨床心理士

2023.11.1現在 7

選択肢提示を支える院内体制

③臓器提供マニュアルの見直し

筑波大学附属病院 脳死下臓器提供 タイムテーブル【基本】
平成22年11月改定/平成23年5月改定/平成25年3月改定/平成31年1月改定/令和2年11月改定/令和3年11月改定/令和3年7月改定/令和4年3月改定

No.	時刻	項目	内容	担当者	手順	場所	備考
1	1	ポテンシャルドナーの発見	ドナーとなりうる状態の患者がいる場合には院内Goに連絡する。	生体医局	「臓器提供等（ドナー）適応基準」に該当する患者がいれば、院内Goに連絡する。		院内Goへの連絡は、ひとりの院内Goにすべし。連絡を受けた院内Goは適宜、院内Go委員と情報共有を図る（以下同じ）
2	1	ドナー情報の受領	ドナー情報を受領する。状態を把握する。 ※18歳以上の場合は、『G』へスキップする。	院内Go	①連絡を受けたら、対象となる患者の状態を把握する。（明らかな別事象かどうか、換死が必要かどうかも相談する。） ②検査部にポテンシャルドナーがいることを伝え、検査に誘えるよう依頼する。 ③ICU/PIUの設置を確認できるよう、各科長に相談する。 ④18歳未満の場合は、医療支援課長に子ども遺体判定委員会召集を依頼する。		場合によっては、院内Goに連絡する。
3	1	子ども遺体判定委員会の召集	患者が児童（生後12週以上16歳未満、以下同じ。）の場合、主治医が脳死臓器提供証明を家系に提示前に、子ども遺体判定委員会で遺体の有無を確認する。	医療支援課長 臨床支援課長	①科長に子ども遺体判定委員会の召集を依頼する。（事後報告でも可） ②集りに（密閉）連絡を受けた場合は、翌日の朝イチに）子ども遺体判定委員会委員に連絡し、開催時間を決定する。		事前に、実質相談など遺体の有無を確認する。口頭で確認した際は、事後に文書で院会のうえ先方から文書の回答を得る。
				子ども遺体判定委員会	①子ども遺体判定委員会を緊急に開催する。 ②結果を病院執行部会議へ報告する。 ③結果を院内Goに報告する。	(院内会議室)	
4	1	子ども遺体判定委員会から病院執行部会議への報告	「臓器提供施設マニュアル」第5章「遺体提供の判断と対応策」P16 ② 臓器提供を行う場合の対応②」前掲委員会等における臓器提供の判断について「臓器提供	生体医局	病院長に報告し、病院執行部会議の議時開催を決定のうえ緊急行事を行う。		

【特徴】

- ・ タイムテーブル
- ・ 「誰が何をどうする」が明確
- ・ 実施時刻
- ・ 院内ホームページに掲載
- ・ 当院の事例を振り返り更新

【種類】

- ・ 脳死下臓器提供
- ・ 心停止後臓器提供
- ・ 脳死下→心停止後

④関係者によるシミュレーションの実施

選択肢提示を支える院内体制

⑤全入院患者への意思表示確認



Header area with icons for home, search, and patient status, and text: 〇型 Rh(+)

Navigation bar: Naviナビゲータ | ナビゲータ | ヒストリカル | (参照) 全科カルテ 21/10/28(木) | 詳細 | 縮小

Left sidebar: 【あなたの病気や命に対する考え方】 救急 HCU

01版: [redacted]	
作成: [redacted]	
記載者	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (初見 幸一:叔父)
●回復の見込みがない状態での延命治療については	<input checked="" type="checkbox"/> 延命治療は受けたくない
●私の最期の療養の場	<input checked="" type="checkbox"/> 病院や介護施設等で過ごしたい
●臓器提供の意思表示について	<input checked="" type="checkbox"/> 意思表示している

DNAR意思確認

DNAR同意 なし あり 同意取得日 [redacted]

※ 上枠をダブルクリックするとカレンダーが起動します

配慮事項: 心停止時は心肺蘇生しない、臓器提供のための積極的な治療(昇圧剤、輸血など)は行う。(250文字)

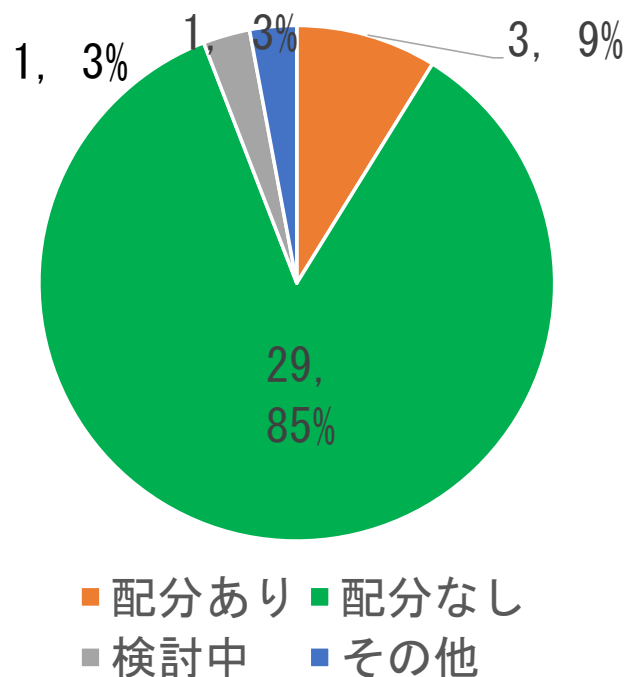
臓器提供意思表示 なし あり

選択肢提示を支える院内体制

⑥ インセンティブ制度の設立・運用

国立大学附属病院（45施設）に照会。
34施設回答を得た。

要項を策定し、2021年運用開始



配分部門	配分金額
ドナー患者管理をした診療科	100,000 円
ドナー患者管理をした病棟	100,000 円
法的脳死判定に従事した部門	50,000 円
臓器摘出場所を提供した部門	50,000 円
その他協力部門	20,000 円

- 選択肢提示
- ドナー患者家族のグリーフケア
- 院内コーディネーターを派遣
- コーディネート
- 事務支援 等

選択肢提示を支える院内体制

⑦職員を対象とした研修会の実施

みんなで学ぼう！

第2回 筑波大学附属病院 臓器提供・移植支援委員会

臓器提供・移植医療 研修会

日時 2020年1月14日(火) 18:00~19:30

会場 臨床講義室D

対象 筑波大学附属病院全職員
筑波大学医学群生
(医学類、看護学類、医療科学類)

事前申込不要

第1部 18:00~18:30

活動報告 当院での取り組み

座長 井上 貴昭
(救急・集中治療科教授/茨城県院内臓器移植コーディネーター)

発着者 綱川 小百合
(救急・集中治療科副科長/茨城県院内臓器移植コーディネーター)

発着者 小山 泰明
(救急・集中治療科教授/茨城県院内臓器移植コーディネーター)

【当院の臓器提供体制と院内コーディネーターの関わり】

【茨城県における臓器提供施設連携体制について】

第2部 18:30~19:30

特別講演 「終末期医療と臓器提供から考える子どもの命」

座長 平松 祐司
(心臓血管外科教授/臓器提供・移植支援委員会委員長)

講師 種市 尋宙 先生
(富山大学附属病院小児科講師)

**臓器提供e-learning
ここが知りたい！臓器提供**


コンテンツ一覧

- ① 法律・ガイドライン (13分42秒)
講師：茨城県Co 小笹 雄司
- ② 臓器移植待ち (10分38秒)
講師：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 院内Co 小山 泰明
- ③ 適応症例とシステム (13分17秒)
講師：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 院内Co 小山 泰明
- ④ 意思確認 (11分58秒)
講師：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 院内Co 小山 泰明
- ⑤ 患者家族支援編 ～感情の受けとめ方～ (13分8秒)
講師：筑波大学附属病院 臨床心理士 院内Co 平井 理心
- ⑥ 全身管理 (13分34秒)
講師：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 院内Co 小山 泰明
- ⑦ 手術室編 ～臓器摘出～ (16分57秒)
講師：筑波大学附属病院 手術室看護師 院内Co 横田 優希
- ⑧ 角膜移植 (15分52秒)
講師：筑波大学附属病院 眼科 福田 慎一

10～15分程度の短いコンテンツです。隙間時間にご視聴いただけます。
気になるコンテンツのみの視聴も可能です。
こういうコンテンツを入れて欲しい！というリクエストや視聴後のご感想等のお気づきの点は下記「問合せ」にお寄せください。

視聴方法

以下のURLもしくはQRコードからサイトにアクセスしてください。
<https://e-kensyu.hosp.tsukuba.ac.jp/moodle/course/view.php?id=45>
 共通ユーザー名：zouki-teikyo / 共通パスワード：0298



【特徴】

- ・コロナ前は対面
- ・コロナ禍はE-learning
- ・全職員対象
- ・学生にも周知
- ・他施設へも紹介

院内コーディネーターの業務

(1) 日常業務

- (ア) 臓器提供発生時に備えた院内体制の整備
- (イ) 所属する院内職員への移植医療に関する普及啓発
- (ウ) 院内研修会等の開催
- (エ) 県の臓器移植に関する研修会等への参加
- (オ) 他院内コーディネーター及び県コーディネーターとの情報交換

(2) 臓器提供発生時業務

- (ア) 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク及び県コーディネーターとの連絡調整
- (イ) 患者家族への対応
- (ウ) 院内関係部署との連絡調整
- (エ) その他院内対応を円滑に行うために必要な業務

『茨城県院内臓器移植コーディネーター設置要項』より抜粋

<心がけていること>

日常から、各部門のことを知り、コミュニケーションをとっておく。

<困りごと>

兼任院内Coであり、通常業務との兼ね合い。業務過多。

家族支援

【入院中】

- IC同席
- 意思決定支援
- 法的脳死判定の立ち合い
- ベッドサイド、患者控室
- 家族の希望（面会、手術室のBGM）
- 帰室
- エンゼルケア・術創の確認
- 臨床心理士の面談
- 精神科外来の予約 等

家族支援

【退院後】

- 院内Co（臨床心理士）による面談
- 小児担当臨床心理士による面談
- 遺族外来
- 精神科外来
- 会計時に声かけ
- 感謝状授与式 等

- ドナー家族の心をケアする事業
（いばらき腎臓財団）

- 茨城県コーディネーターによる訪問



さいごに、お願いごと

家族／大切な人と話し合う「わが人生を考える日」を

患者さんひとりひとりの生き方を尊重したい。

選択肢提示でおこなわれる選択は、患者さんが望む生き方の延長であってほしい。

いざというときに、判断するのは家族。

家族が苦悩しないように、日常で家族と自分の生き方を話し合ってほしい。

そういう1日をつくっていただきたい。

「山の日」「海の日」といった祝日に加えて

「わが人生を考える日」の制定を！